

	課題分析	授業改善策
1年	<p>【国語】 ひらがな、かたかなだけでなく、文章を読み取る力もついていない。</p> <p>【表現する力】 自分の思いやその場の様子を、正しい言葉で相手に伝えることが苦手である。</p>	<p>【国語】 順序を捉えながら話の内容を捉えられるように、全体で丁寧に指導するだけでなく、補助資料を活用していく。</p> <p>【表現する力】 語彙力を高められるよう、たくさんの表現に触れさせる。また、話型、文型を示して、表現の場を多く設ける。</p>
2年	<p>【体育】 外で遊びたがらない児童がいることもあり、運動経験が多くなく、いろいろな動きが苦手な児童がいる。</p> <p>【国語】 自分の経験したことなどについて、順序に沿って簡単な構成を考えて、文章を書くことが苦手である。</p>	<p>【体育】 運動遊びの充実により、運動の楽しさに多く触れさせ、基本的な動きを身に付けさせたり、意欲的に運動をする態度を養ったりする。</p> <p>【国語】 国語の学習や行事の振り返りなどを通して、全員が同じ経験をしたことについて、順序を確かめながら文章を書く場を多く設ける。</p>
3年	<p>【国語】 語彙力が低く、学習した漢字について、意味を理解して活用できていない。文章の構成を意識して書くことが苦手である。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 体を使って表現することは得意だが、書いたり話したりする中で、他者に分かりやすく順序立てて表現することが難しい。</p>	<p>【国語】 日々の授業や、漢字や日記の家庭学習で、順序立てて文章を書くことの経験を積み重ね、日常的に活用できるようにしていく。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 書いたり話したりするときの話型を示し、繰り返して慣れさせる。ペア学習、グループ学習を取り入れ、表現する場を多く設ける。</p>
4年	<p>【道徳科】 C項目「国際理解」「郷土愛」やD項目など、児童にとってあまり身近でない教材になると、意見が出にくく、考えが深まらない。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 交流場面で、一方的なやりとりで終わってしまう児童が多い。</p>	<p>【道徳科】 教材・教具の提示を工夫したり、授業内容と生活が関連する話題を提供したりし、学習内容と日常とを結びつけて考えられるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ペア、トリオなど多様な交流の場を設定する。意見を聞く時の観点や反応の仕方を示したり、実践できている児童を紹介したりする。</p>
5年	<p>【聞くこと】 相手の意図や目的を考えながら聞いて、自分の意見を発言する児童が少ない。</p> <p>【問題解決能力】 自身の課題に気づき、解決方法を考えられる児童が少ない。</p>	<p>【聞くこと】 発言する際に、話型の例を提示し、相手の意見の意図や目的を考えられるようにする。</p> <p>【問題解決能力】 課題を考えさせる場面や発表する場面を授業で設定して自身の問題に気付けるようにし、解決方法を考えさせる声かけを行う。</p>
6年	<p>【表現力】 知識が身に付いている児童は多いが、相手に正確に伝えるなど、表現することを苦手とする児童が多い。</p> <p>【主体的に取り組む力】 与えられた課題に取り組むことはできるが、課題に気づき、気付いた課題を自ら解決していく力が十分でない児童が多数いる。</p>	<p>【表現力】 様々な授業において、意見や考えを伝え合う場面を設定するなど、相手を意識した活動を、これまで以上に取り入れる。</p> <p>【主体的に取り組む力】 知りたいことに対し、どうしたら分かるのか、解決への見通しをもたせ、自ら進めていくような授業を仕組んでいく。</p>

専 科	<p><b>【算数】</b> 基礎基本の積み重ねができていない児童が多い。1単位時間の学習がつながっておらず、既習事項を生かして問題を解くことが難しいと感じる児童が多い。</p> <p><b>【図画工作】</b> テーマに合わせて発想を膨らませながら表現することが難しかったり、表現したいことがあっても技能が不足していたりする。</p> <p><b>【音楽】</b> 器楽ではタンギング、歌唱では発声等、基礎的な能力が定着している児童が少ない。</p> <p><b>【理科】</b> 実験の技能(器具の操作)が身に付いていない児童がいる。</p> <p>科学的な思考に基づいて、考えを適切に表現することが難しい。</p>	<p><b>【算数】</b> 基礎的な計算の仕方だけではなく、既習事項で生かせることはないか掲示物や振り返る機会を作り、自分の考えや友達の発想に触れたり協力して問題を解き合ったりと学びの機会を増やしていく。</p> <p><b>【図画工作】</b> 全体でテーマについて話し合うことでイメージを共有したり、具体的な表現の仕方について児童同士で紹介し合ったりすることで、どの子も意欲的に取り組めるようにする。</p> <p><b>【音楽】</b> 正しい演奏・発声を明確に提示し、常に意識ができるようにしていく。聴き合い等を通して、他者と比べながら自分の音と向き合う時間を多く作る。</p> <p><b>【理科】</b> 実験器具や材料を十分に用意し、個人または少人数で実験を行い、どの児童も器具を扱える機会を多く設ける。</p> <p>観察・実験の結果をグラフや表にまとめ、それらをもとに考察し根拠を示しながら自分の考えを表現する場面を設定していく。</p>
--------	--	---